

森重氏からの報告（要約）

日本の婚姻件数、婚姻率の低下を統計によって示した。ウタベウエディングの結婚調査アンケート（2008年）は、年代が上なので、全体で65.2%、若い世代は7割強が結婚意志がある。しかし、結婚の必要性についての考えは高くない。結婚に対するよいイメージを醸成することが鍵となる。統計によると若者の結婚意欲は高い。ウエディングの市場の推移について話すと、1970年代は結婚式件数も多く、専門式場で奇抜なアイデアの披露宴がよく行われた。2000年頃からは美味しい料理と洗練されたサービスを提供するホテルのニーズも高まり、チャペルでの結婚式も増加してきた。そして、バブル崩壊以降は従来の反省から、自分らしい演出ができる新しい結婚スタイルが求められ、ハウスウエディングが日本でも韓国でも活況を呈している。一方、「ナシ婚」（結婚式、披露宴を行わない）が増加し、写真撮影のみ希望という人もある。